

**「(仮称) 大分市若者活躍推進プラン (素案)」
市民意見公募 (パブリックコメント) 実施結果**

【意見募集期間】

令和6年1月9日(火曜日)～令和6年2月7日(水曜日)

【意見者数】

4名

【意見数】

4件

番号	意見（要旨）	意見に対する本市の考え方
1	<p>「施策1 若者がつながる、若者をつながる」の中で、地元の居住地域の活動に参画できる仕組み、取組を考えてほしい。自治会活動は、高齢者中心となっているため、地域に居住する若者が自治会活動に参画できる仕組みが必要ではないか。素案の中に、若者と自治会、地域活動との協働といった内容を取り入れてほしい。</p>	<p>本プランの「施策1 若者がつながる、若者をつながる」の主な取組として「様々なイベントの開催を通じて、市内外の若者同士の交流をはじめ、異なる世代との交流を図ります。」を掲げております。若者の地域活動への参加を通じて、若者の社会参画を促進することは、大変重要であることから、いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>これからの若者主体のまちづくりは非常に大切なことであり、若者の社会参画を促すためには、過去に社会教育課が主催した青年団活動などの若者が集うイベントを、今後も社会教育の一環として行う必要がある。大分市教育委員会には、積極的な若者施策を検討、実施し、人材育成に取り組んでほしい。</p>	<p>本プランの「施策1 若者がつながる、若者をつながる」の主な取組として、「様々なイベントの開催等を通じて、市内外の若者同士の交流をはじめ、異なる世代との交流を図ります。」を掲げています。このことを踏まえ、社会教育の一環として、様々なイベント等を通じ、若者が若者同士や異なる年代の方々と触れ合う機会を提供することで、若者の人材育成に取り組む、社会参画を促したいと考えています。</p>
3	<p>目標である「若者が活躍しやすいまち」と感じる市民の割合を増やすには、若者だけが盛り上がった、利益を受けたりする取組ではなく、若者の企画を通して全世代が利益を受ける、参加できる、受け入れられるものである必要があると思う。若者というと漠然としているので、大分に地に足ついた、大分で起業している又は大分で家業を継ぐ次世代の若者に焦点を絞って企画を進めるのもよい。例えば、wellbeingなどのコンセプトを決めて、若き経営者たちの商品・サービスの見本市を行い、参加者は年齢の分だけ割引を受けられるなどの取組を行ってはどうか。</p>	<p>若者の取組を社会全体で応援し、若者が持つ活力の循環を社会に生み出すことで、あらゆる世代の互惠関係が築かれ、ひいては「若者が活躍しやすいまち」と感じる市民が増えるものと考えています。</p> <p>また、本プランの「施策3 若者のチャレンジを応援する」では、若者の起業しやすい環境づくりや様々なイベントの開催を通じた活動支援を行うなど、若者のチャレンジを市全体で応援することとしております。</p> <p>なお、いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>若者が市政への興味関心を持つために、大分市というまちを楽しんでいる移住者や地域活動者などとの交流の機会を作ってほしい。その際、普段から「まち・ちいき・若者」と関わっている人（地域活動実務者、地域おこし協力隊経験者、ゲストハウスの管理人、カフェの運営者等）がコーディネーターとして参加してほしい。</p>	<p>本プランの「施策1 若者がつながる、若者をつながる」の主な取組として、「様々なイベントの開催等を通じて、市内外の若者同士の交流をはじめ、異なる世代との交流を図ります。」を掲げており、取組を通じて、若者の市政への興味・関心を喚起します。なお、いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

